

18. 激動する東アジアと日清・日露戦争(2) / 近代の産業と文化の発展

韓国併合 …ポーツマス条約後、日本は韓国の外交権を握り、①統監府を置いて保護国化

→初代統監は伊藤博文

→内政の実権も握り、軍隊を解散→韓国で義兵などの抵抗運動、伊藤博文が暗殺される

→1910年、韓国を領有し、国名を②朝鮮とする (③韓国併合) 韓国が朝鮮として日本の植民地になる

中国の動き …民族主義・民権主義・民生主義の④三民主義を唱えた⑤孫文を中心に、清打倒の運動

→1911年、軍隊の一部が蜂起→多くの省が呼応して清からの独立を宣言 (⑥辛亥革命)

→1912年、南京で⑦中華民国の建国を宣言

製糸業と紡績業の発展 …1880年代後半、製糸業や紡績業などの⑧軽工業が急速に発展

→⑧工業中心に、⑨産業革命が進み、資本主義が確立

重工業の発達 …日清戦争後、官営の⑩八幡製鉄所を設立→1901年から鉄鋼を生産

→日露戦争後、重工業が発達し、貿易では輸入が輸出を上回る状態が続く

社会運動 …工業化の進展により、工場で働く労働者が増加、厳しい条件のもとで就業

→片山潜らが労働条件を改善しようとする運動を指導
労働組合が結成され、⑪労働争議がおこる

→1900年、労働運動を取りしめる⑫治安警察法制定

→日露戦争後、労働条件の改善を目指す⑬工場法制定

⑭幸徳秋水が初の社会主義政党の社会民主党を結成→直ちに解散

1910年、⑭ら社会主義者が捕らえられて処刑される⑮大逆無道事件がおこる

公害の発生 …足尾銅毒事件→⑯田中正造が操業停止や被害者救済を求める運動を進める

稀根・渡良瀬川

▼教育と学問

教育	1886年、⑰学校令制定…義務教育は4年
	1890年、忠君愛国や父母への孝行を説く教育勅語発布
	日露戦争後、義務教育が6年間に延長
大学	国立 東京大学 女子師範学校(現在のお茶の水女子大学)
	私立 ⑱澤田柚子…女子英学塾
学問	⑲北里柴三郎…破傷風の血精療法
	⑳野口英世…黄熱病の研究

▼西洋文化と伝統文化

美術	日本画…⑳岡倉天心や フェノロサが価値を見直す 横山大観など
	洋画…㉑黒田清輝「湖畔」
	音楽 ㉒滝廉太郎…「荒城の月」
文学	㉓夏目漱石…「坊っちゃん」
	㉔樋口大祐…「にこりえ」 坪内逍遙…「小説神髓」など